

平成30年度 第1回土佐清水市地域公共交通協議会・ 土佐清水市有償運送運営協議会 総会 会議録

日 時：平成30年6月22日（金） 13時30分～14時40分

場 所：土佐清水市役所2階 第1会議室

出席者：別紙のとおり

事務局：企画財政課長補佐 山下育、政策企画係長 公文麻衣、政策企画係主幹 中山 剛

会議概要（要約）

【総会の成立】

「土佐清水市地域公共交通協議会規約第12条第2項ならびに土佐清水市有償運送運営協議会設置要綱第5条第4項」の規定により、委員の2/3以上の出席が必要。委員の数は18名、その2/3は12名。本日の出席委員数は17名であり、両総会が成立していることを報告。

【承認事項】

(1) 土佐清水市地域公共交通協議会規約の改正について【承認事項】

⇒意見・質問なく 『承認』

(3) 空白地有償運送の更新登録申請について【承認事項】

⇒意見・質問なく 『承認』

(5) 土佐清水市地域内フィーダー系統確保維持計画について【承認事項】

⇒意見・質問なく 『承認』

【質疑・意見交換内容（要旨）】

（西宮正夫委員）Webサイトを活用したサイトがすでに存在するのか。

⇒（事務局）すでに存在している。しかし、うまく検索できないことがあるので、改善要望という形でしか取り組みはできないが、要望するためにも、まずは整理することが必要ではないかと考える。

（西宮正夫委員）来訪者の移動手段ということで周遊バスがあるが、路線バスと近い運行ダイヤであるのか。また、観光客が目的地に行くことを考えれば意味合いが違ってくるのではないかと。

⇒（事務局）路線バスと近いダイヤであるので、重複といて良いかの区別が難しいが、課題はある。

⇒（泥谷会長）両方とも中村駅着の列車に合わせたダイヤになっていることはいなめない。課題は課題であるのでそこはまた検討していきたい。

（鬼谷秀樹委員）路線バスが運行する区間内ではあるが、貨客混載ということも考えられなくはないので、例えば、買い物利用客の荷物について、輸送することはどうか。

⇒（泥谷会長）すでに量販店のサービスで一定の金額に達すると配送対応している店がある。

（鬼谷秀樹委員）周遊バスは貸し切りバスでインバウンド利用などもあり、目的が違うので路線バスに変更した場合にどうなるか高知西南交通としても検証していきたい。ICカードですかの案内については現地に手続き発券の対応が可能なので市役所と連携していきたい。乗務員の確保については新規で5名採用している。市の広報で周知していただけるとあるが、実際は市外の方ばかりの採用でしたので、市内だけの広報活動ではなかなか難しいところがある。市外向けに広報できる機会があればそちらにも目を向けていただけたらありがたい。

⇒（泥谷会長）わかりました。ご意見ありがとうございました。

（上戸康弘委員）公共交通網形成計画について評価の指標を示しているが、全体の人数が少なくなる中で、目標値を達成するのは難しい状況になってくることが予測させるため、もう、一歩踏み込んだ計画にしてはどうか。たとえば、イベントの開催であるとかおでかけ号を使用しておでかけしていただく仕組みをつくれないか。

⇒（泥谷会長）イベントや広報活動に力を入れていくということだと思いますので、十分踏まえた形でやってくようにしたい。

（中嶋準委員）予約業務を受けている事業者として利用促進の部分で、毎月、介護予防拠点施設に行った際は広報周知活動に努めている。

⇒各団体に利用者増に向けて取り組んでいきましょう。